

ぎかい



2023.10.17

小国町議会だより 第158号

家族っていいね！

スマホ
からも
ご覧いただけます！

表紙関連記事は16ページ

令和4年度決算認定！
米坂線の
早期復旧を発議！

主な内容

- 臨時会・定例会 2ページ～
- 各課決算審査 4ページ～
- 一般質問4名登壇 8ページ～
- 委員会・語る会 13ページ～

7900万円増額可決

一般会計主な内容

- 総務費** 第四投票区を第一投票区に統合するための選挙システム改修経費……1,188,000円
- 農業費** 物価高騰による子育て世帯の経費負担と町内産米消費拡大のため18歳以下の子ども一人あたり10キログラムの町内産米支給
……5,076,000円
- 畜産業費** 飼料価格の高騰が続いていることで、繁殖牛一頭6,000円肥育牛一頭11,000円を支援
……3,009,000円
- 商工費** 中核企業の安定化のため工業用水道料金の支援……30,000,000円
- 消防費** 役場庁舎内の防災行政通信システムの経年劣化による機能更新……561,000円
- 教育費** 旧北部小中学校道路支障木伐採と同校荒川寮解体について、アスベスト含有建材の処理に要する費用……410,000円
- 災害復旧費** 種沢地内の沢田川における修復工事に使用していた農地についての農業保障
……355,000円
- 土木費** 除雪機械修繕費追加……7,000,000円
- 契約** ●おぐに保育園解体工事請負契約の締結
株式会社高橋工務店 100,650,000円
工期:令和6年3月29日まで
- 専決処分** ●令和4年災町道湯沢長者原線復旧工事請負契約金額の変更…58,300,000円→58,373,700円
●物損事故(令和5年7月28日発生)に基づき生じた損害賠償額の決定…賠償額159,632円
- 陳情** 全国靈感商法対策弁護士会連絡会の不当な声明に対する陳情
山形県山形市青田南1-11-510
山形県を明るくする会(代表)井上 均

定例会の あらまし

- 9月定例会は、9月5日から15日の日程で行われた。
- 専決処分2件、補正予算案9件、条例案3件、人事案1件の提案があった。
- 令和4年度会計決算12件が一括上程され、決算審査特別委員会に付託された。
- 4名が一般質問に登壇した。
- 最終日には、上程された全議案を全員賛成で可決した。
- 陳情1件
- 議会発議によりJR米坂線の早期復旧に関する決議を行った。

一般会計補正予算 約3億

小国町議会は、JR米坂線の

早期復旧に向け決議する!

◇令和4年8月の豪雨災害により町内外を結ぶ重要な公共交通機関であるJR米坂線は、寸断された形となった。このままでは住民生活や観光・経済活動に影響を及ぼし、人口減少が加速し地域活力の更なる低下に繋がる。小国町議会は、一刻も早い復旧に向け、関係者と連携した取り組みを行うこととして、以下の内容で決議した。

1. 住民の生活を守る交通手段として、国や県及びJR東日本等の関係機関に対し、一刻も早い復旧に向けた強い働きかけを行っていきます。
2. 復旧と合わせ、観光振興等の地域の活性化に関し、町内の関係者、団体と協力しながら、利用促進に向けた取り組みを行っていきます。



代行運送が続く米坂線

人事案件

小国町教育委員会委員

大津 秀子 氏

小国町大字緑町

任期

令和5年10月1日から

令和9年9月30日

第6回臨時議会開催

令和5年8月21日

臨時会

- 一般会計補正予算1件
令和5年4月9日に発生した鳥獣駆除災害補償費
- 損害賠償額の決定1件
通所リハビリテーション利用者の送迎事故に関して



令和4年度 決算審査

間宮尚江委員を委員長とし安部議長、石山監査委員を除く8名の議員で決算審査特別委員会が行われた。全会一致で認定された。

総務企画課

効果的に使われたのか

Q 次期総合センター建設事業において取り組んでいる中心市街地活性化策定業務の内容は。

A 中心市街地の都市機能拡充と経済活力の向上を目指した計画を策定することとしている。令和4年度は、町民や事業者へのアンケート調査などを実施し、課題を整理したうえで取り組む方向を検討してきたところである。

Q 町外企業からの「企業版ふるさと納税」の状況は。

A 本町の施策や取り組みへの支援として寄付をいただいたほか、昨年の豪雨災害の復興に向けた寄付も寄せられた。合わせて4件、5120万円の

寄付額であった。

Q 移住定住促進事業について体験ツアーの委託が「小国町観光協会」と「おぐにマルチワーク事業協同組合」の2社になっている理由と成果は。

A 一つには、小国町を知っていたためへの入り

口として観光協会に委託している。一方には、移住後の生活や働くことまでも想定したツアーをマルチワーク事業協同組合に委託している。

昨年度は、マルチワークとして1名、地域おこし協力隊で1名の方が移住された。



実効性のある市街地活性化計画を

農林振興課

Q 野生動物による農地等被害復旧支援事業における、市野沢地内に設置した緩衝帯の効果は。

A 市野沢地区において「住民主体の地域ぐるみで行う獣害対策」を実施しており、令和3年度は、鳥獣電気柵の設置、山際の緩衝帯整備を行った。令和4年度は川をはさみ対岸に鳥獣等が生息し



市野沢鳥獣被害対策エリア

ていることも確認されたことから、そのエリアについて、緩衝帯の整備を行った。結果、ニホンザルやイノシシについての被害は確認されなかったが、新たに見つかったニホンジカ2頭を捕獲するなど効果が出ていると認識している。

産業振興課

Q 「白い森おぐにフードツーリズム推進事業」の参加実績は。

A 委託先のオレンジペーシーズの企画により東京で料理教室と小国町の食を巡るツアーを開催した。料理教室は2回実施し、31名の参加があった。小国町でのツアーは、13名であった。合わせて44名の参加で食を通じて交流人口の増加を図った。

Q 3歳児のためのファーストファニチャーデザインは、何年も行っているが進展はあったのか。

A 木工館に協力隊が配置され商品化に向けて活動はしているが、今後の事業のあり方について検討をしているところである。

Q 飯豊リゾートの山崎屋にネット環境を整備しワーキングスペースに改修したが利用実績は。

A 令和4年1月から開始しているが、現在まで15組42名の利用となっている。



利用増加が望まれる山崎屋

Q やまがたアルカディア観光推進事業に参加し、旅行商品の開発とツアーを実施している。令和4年度の実績は。

A 小国町関連の旅行商品は、28事業で来町者は271名となっている。人気のツアーは、つる細工の体験ツアーだと聞いている。

健康福祉課

Q 民生委員児童委員41人中15名が新人、2名が不在となっている。相談件数も多く大変な仕事である。研修を受けてから委員になるのか。

A 相談に対して行政の関与は。

A 民生委員に委嘱されてから西置賜や小国町の民生委員協議会の研修など

を定期的に受講している。相談については民生委員が解決することもあれば、行政に相談するケースもある。緊急を要するものは都度対応している。

Q 令和4年度は置賜成年後見センター創設に負担金が支出された。小国町民の利用は。

A 小国町民の相談案件はない。

地域整備課

Q 勤労者住宅の入居募集は停止しているが、経費が執行されている理由は。

A 老朽化に伴い募集を停止している。転居の意向を尋ねているが、居住しているので、諸修繕や火災報知器設置等の維持にかかる費用を支出した。

Q 昨年の災害以来、大橋の照明復旧作業の進捗状況は。

A 復旧工事を執行する上での、仮設備でもある足場設置を含めると二千万円以上要することから、財源確保が問題である。来年度の予算計上に向けて努力したい。



老朽化した勤労者住宅



財源確保が待たれる小国大橋の照明

教育委員会

Q 小国町小中学校教育環境整備準備委員会開催事業の成果は。

A 学校保護者、地域、教員の各代表等による組織を設置し、叶水小中学校の統合問題を中心に、全町の視点に立った新たな教育環境の整備を進めるための議論を行った。

Q 小国高校の地域留学推進の高校魅力化支援事業で「小国高校を支援する会」への委託の内容は。

A 小国町のまちづくりの人材確保において、小国高校の存在は重要である。存続のため「支援をする会」を通じ魅力化向上の支援を行っている。委託料はコーデイネーターの人件費、車両リース代、住宅費等である。



決算特別委員会報告書【要旨】

令和4年度税収は、中核企業の好調な業績を背景に11億9千万円と大幅増となった。

一方で町内経済は、新型コロナウイルス感染症・物価高騰の影響もあり町内の活力が十分に回復したとは言えず町民の疲弊は続いている。

こうした状況に鑑み、各事業の効果を検証しながら、貴重な財源を町全体に行き渡らせる事業の展開を望む。

令和4年度各会計決算12件には次の意見を付し認定する。

- 1 病院並びに老人保健施設事業に対する一般会計の負担が6億を超えている。町民にとっては無くてはならない施設であるものの、今後その金額を抑えていくための方向性を定め、効果的な対策が講じられる事を望む。
- 2 「稼ぐ力」を得るために観光振興施策は大きな柱となる。効果が現れている事業もある一方で、複数年継続されながらも成果が明確でない事業も散見される。当初の目的に照らし合わせ、進捗、達成の状況を検証、精査し、一層効果的に事業が展開される事を期待する。
- 3 令和4年8月に本町を襲った豪雨災害は、あらゆる方面に甚大な被害をもたらした。さらに年度末には、極めて短時間に記録的な降雪があり、その結果、長時間の断水や停電を引き起こすなど、町民生活に多大な影響を及ぼした。その都度、町職員を含む関係機関の方々の懸命な復旧作業により、影響を最小限に抑えられてきた。その活動は高く評価されるものであり、引き続き今後の各種災害対応に万全を期していただきたい。

令和5年9月14日 決算審査特別委員会 委員長 間宮 尚江

町の考えを問う 一般質問

本会議及び一般質問の内容は、インターネットで録画をご覧ください。

http://www.oguni-town.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_day_id=236&category_id=2&inquiry_id=443



間宮 尚江 議員 9ページ

- 1 学校給食費の無償化に向けて
- 2 現総合センター内の温泉機能含む他の機能の今後は

渡邊 重信 議員 11ページ

- 1 道の駅機能の充実について
- 2 小国町の伝統文化の継承を担う人づくりについて

小林 嘉 議員 10ページ

JR米坂線の早期復旧について

石山 久美子 議員 12ページ

- 1 小国町の雨不足、高温被害について
- 2 飯豊リゾートの施設、運営・経営状況について

🔍 一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し行財政全般にわたり、実務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質し、報告や説明を求めることを言います。

小国町議会での質疑は、答弁も含め1人60分以内です。



●学校給食費無償化を ●現総合センターの「温泉機能」と 次期総合センターの「図書館」の 今後は

ま みや ひさ え
間宮尚江議員

●早期の給食費無償化を

問宮 給食費だけの問題として捉えるのではなく、子育て支援、少子化対策、移住定住支援としても、早急に小中学校の給食費無償化に踏み切るべきではないか。

財政支出が問題

町長 恒常的な多額の財政支出は、重要施策に影響を及ぼすものと考えますが、今後、学校給食の検討事項としては、一般の物価高騰への対応、子育て支援の一環として、第2子以降への補助等を想定して、慎重に議論すべきである。

公会計化への移行は

問宮 現在の学校給食費私会計を公会計に移行するのか。

教育長 様々な点を検討し、今後実施の方向で検討する。

問宮 公会計は、給食費

含む学校徴収金全体の負担軽減になる。給食費無償化への視点と捉えるべき。

●センター温泉機能の今後は

問宮 将来、温泉機能はどうするのか。明確な施策を、早急に町民に示すべきではないか。

新しいかたちを模索している

町長 現在の源泉の湧出量は毎分30ℓ、湯温20度の為、加温したお湯を合わせて供給している。また、交流の場、災害時には町中心部の入浴施設としての機能を果たしている。将来的に町に温泉施設がないということは避けたい。湯量や立地を考慮しながら新しい場所、新しい形では、残したい。

温泉施設の存続を

問宮 利用者の方々の不安を早急に解決していただきたい。

「図書室」が「図書館」に

問宮 次期総合センターでは「図書館」となる。目指す機能は何か。

気軽に集える空間に

町長 現状より三万五千冊多い蔵書を確保し、図書管理システムも導入する。複合施設として、本を片手に施設内を自由に移動できることを想定している。

図書館協議会設立を

問宮 多くの町民の声が図書館に届くよう※条例制定に併せて、協議会設立を望む。また、生涯学習の拠点づくりとして社会教育主事の配置を期待する。

※条例制定：
図書館法第10条は公立図書館設置及び管理に関する事項は条例で定めなければならない。公立図書館には図書館協議会を置くことができる。



町民のニーズに応えられる図書館へ

JR米坂線の早期復旧を

こばやし よしみ
小林 嘉 議員



要望活動はどのように

小林 米坂線整備促進期成同盟会として、どのような動きをしているのか。沿線自治体との連携を含めた現在の取り組みを聞きたい。

期成同盟会の総会で方針確認をした

町長 昨年8月には期成同盟会として、また今年1月には、新潟・山形両県及び沿線市町村長でJR新潟支社に要望活動を実施してきた。

今年5月には村上市、関川村、飯豊町の各市町村長との意見交換を行った。8月には、米坂線整備促進期成同盟会の総会を開催し、早期復旧に向けた取り組み方針を確認した。改めてJRや国等への要望活動を展開していく。

住民の声は最も重要

小林 住民の声をどのような形で、JR、国、県に届けるつもりなのか。

機運醸成に努める

町長 利用されている皆様や、沿線住民の声が大変重要であると認識している。代行バスなどへの聞き取りやアンケート、復旧を望む沿線の皆様の声を聞き、早期復旧に向け粘り強く要望活動を展開していく。

鉄道の再構築協議会は

小林 鉄道のあり方を検討する「再構築協議会」が発足した場合、町はどのような考えで臨むのか。

鉄道のあり方と復旧は切り離して議論する

町長 米坂線の復旧と通常運転の再開を要望の第一義としており、地方鉄道である米坂線の今後の方向性の議論

と、復旧とは切り離すようお願ひしている。この考え方は今後変わるらない。
新潟・山形両県はじめ、関係市町村と連携を密にして取り組む。



米坂線全線復旧を待つ小国駅



●観光DXの推進を早期に ●小国町の伝統文化を教育に

わた なべ しげ のぶ
渡邊重信議員

●道の駅の機能の充実について

渡邊 町長就任以来、小国町の観光ビジネスの拠点として「道の駅」の整備に積極的に力を入れてきたが、その機能としての情報発信に課題がある。

一点目に、情報コーナーが二ヶ所に分かれていることに加え、無人のため、従業員の業務に支障が出ている。

二点目に「道の駅共同開催イベント」のスタンプリー等の場所が分かりづらいとの声も多い。人材の少ない場所へこそ、ビジネスコンテストでの小国高校生アイデア、AIやDXの取り組みが必要ではないか。

積極的に取り組みたい

町長 アフターコロナの人流回復やインバウンド需要への行政の役割の一つとして、観光

客の目線に立ったサービス提供に努める。情報コーナーの見直しや案内情報の提供は重要であり、喫緊の課題である。人員配置も含め観光客に満足いただける情報発信、観光案内に努める。



二ヶ所の情報案内所、無人が課題

●小国町の伝統文化を担う人づくりについて

渡邊 小中高一貫教育に白い森探究学を取り入れた結果、素晴らしい気付きと、学びの成果は出ていると認識できる。

小国町が元気な頃は、運動会では「小国音頭」、お盆には町内各地で盆踊りが開催され「すつとこさすつとこさ」の音が響き、耳や心に残る、ふるさとを懐かしむ伝統文化があった。これらを担う人づくりが必要ではないか。

地域の伝統文化に触れる機会を設ける

町長 昨年度より※「まちづくりパートナーシップモデル事業」に取り組み、北東部地区に職員を派遣し本年度は実行委員会により「北東部納涼盆踊り祭」が実現された。

教育長 総合的な学びの場や、白い森学習で学ぶことが出来るよう、学校と相談する。



パートナーシップ事業の講習会

※まちづくりパートナーシップモデル事業…行政と地域の関係性を強化するとともに、住民主体のまちづくりをサポートしながら、新たな共同のまちづくり、地域担当制のモデルを構築するため令和4年度から行われている。

●雨不足、高温被害の状況は ●飯豊リゾートの充実を

いしやまくみこ
石山久美子 議員



●雨不足、高温被害について

石山 7月、8月はこれまで経験したことのない、連日の高温が続き、雨不足による農作物の生育不良が心配される。現在の状況は。

一部地域で生育不良

町長 梅雨明け後、気温の高い日が続いた。雨は局地的、一時的に降ってはいるが、全体では極端に降水量が少ない状況である。そばや大豆などの露



深刻な渇水状態

地野菜は一部生育不良となっている。

特に稲作はかんがい用水が必要な時期に高温少雨が重なり、一部では※枯死の状態も見受けられた。

対応は

石山 被害に応じた対策、農家への指導や関係機関との連携は。

町長 定量が取水できない地区もあるが、順番を決めて水を引く、番水方式をとっている地区もある。

また、農家が自力でポンプを購入し活用している。

町では「小国町営農指導関係会議」を開催し、米の生育状況の確認を行い「西おきたま米づくり情報」を稲作農家に配布し、病虫害防除と※湛水管理など周知した。

●飯豊リゾート

小国町の観光が揺らいでいる

石山 豊かな自然と温泉、おもてなしの料理が自慢の観光施設で9月から「昼の食堂」と「お部屋休憩」の休止などの事業内容の縮小が図られた。存続するための課題は。

人材確保が困難

町長 いずれの施設も老朽化が進んでいる。また、来訪者が求める施設やサービスとのミスマッチも見受けられる。人口減少や団体から個人旅行への転換、経験したことのないコロナ禍が拍車をかけ物価高騰の影響などにより苦難に立たされている。特に従業員の高齢化に伴う人材の確保が困難になっている。

今後の対応は

石山 課題を解決するための方策を問う。

町長 例えば処遇改善を図る等を町と「おぐに白い森(株)」と意見交換を一層密にして、道筋を探っていく。



飯豊リゾートの未来は

※枯死：木や草が完全に枯れること。
※湛水：農業用語で主に水田に水を張つてため続けること。

広聴広報常任委員会

議会だよりをより良いものに

広報クリニック受講



県町村議長会を代表して
あいさつをする安部議長

令和5年7月19日、山形ビッグウイングで開催された広報研修会に広聴広報委員会メンバーで参加。東京都広報コンクール審査委員を務める長岡光弘氏から小国町を含む7町村の議会広報がクリニックを受けた。それぞれの良いところを取り入れ、読みやすく読んでもらえる広報づくりに努めてまいります。

議会運営委員会

置賜三市五町議会

連絡協議会 定例総会開催

令和5年7月3日 高畠町生涯学習館にて

講師 F・M・Pカンノ株式会社

代表取締役社長 荻原敏明氏

演題 「地域農業の取り組みと
発電事業・海外事業について」

総会において、令和4年度事業報告・決算、役員改選等が行われ承認された。



研修を受ける議会運営委員会

「小国町議会だより」モニター決まる

令和5年10月号～令和7年2月号 (6回分)

4名のモニターが決定しました。モニターの皆さんからご意見を伺いより良い紙面づくりに努めてまいります。



あらし

ます。

お忙しい中ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

情報共有した。

アフターコロナの状況や組織の課題などについて

開催した。

令和5年度7月・8月に「議会議員と語る会」を

議会議員と語る会 3団体と行う

議員と語る会開催 アフターコロナ ウィズコロナ



有限会社白い森よこね 物産品直売所のみなさん 令和5年7月25日



前列左から



- 令和5年度はコロナ前と同水準の売上となっている。
- 光熱水費及び原材料費の高騰が重い負担となっているが、支援がある予定にありがたく感じている。
- 道の駅でイベントをする際、出展者を直接声掛けし募っているが、様々な事情から希望者が少なくなってきた。みんなで盛り上げていきたい。
- 花公園の活用の仕方に工夫が必要と感じている。
- グランピング場やお風呂、シャワーなど車中泊するための施設が欲しい。

飲食業 令和5年8月3日

前列左より



- 町内で食品を扱う店が閉店したことにより、問屋等が町内に来なくなり、食材が手に入りにくい。
- 時給1000円でもアルバイトが来ない。
- コロナ禍で借り入れをしたが、返済が大変。
- 補助金等で省エネの冷凍庫に買い替えることができた。
- キラキラ券は助かるが、使用可能期間を短くできないか。
- 原材料費の高騰分を価格に転嫁できない。

むつみ 北東部睦会 令和5年8月4日

ロゴ付き
ポロシャツを作成



左二人目から



- 盆踊りは「睦」の活動の一つ。若い人がそれぞれの特技を生かし、活動している。
- 北東部は広域なので細部の声が集約しにくい。
- 発足したばかりのため資金がない。町からの支援も欲しい。募金・寄付は続けていく。
- ステップアップしていくためには、今後も町職員の知恵が必要だ。

がんばってます!



プロフィール

氏名 渡部 広美
住所 小国町大字町原
出身地 飯豊町小白川
趣味 花を育てること

Q自己紹介をお願いします。

A山形中央信用組合へ勤務しています。三姉妹(17歳、12歳、7歳)の母です。

Q小国町へ嫁いできてこの印象と感想は?

A言葉がとてもきれいなこと(なまりがない)ですが、意外と分からない言葉もありました。

今はだいぶ分かるようになりましたよ。それから小国町の人達はとても優しいと感じました。

Q今、夢中になっっていることはなんですか?

A長女の大学受験、次女の高跳びのバーを上げること、三女の短距離走の応援です。

三人とも陸上をしているので、その応援に行くことに、はまっています。

Qとても仲の良い三世代家族ですね。

A普通です!(笑)私の周りも仲の良いご家族が多いですよ。



サツマイモの収穫に笑顔

Qお父さん、お母さんから広美さんへ一言。

A子は「かすがい」子供を張り合いに!

私達も孫を張り合いに笑顔でいられことに感謝感謝。

Q広美さんからお父さん、お母さんへ一言。

Aお父さんへ!好き嫌いをなくして、お母さんが作った美味しい料理を食べて、健康でいて下さい。

お母さんへ!これから渡部家の嫁としてよろしく願います。



▶両親に感謝

Q町や議会に望むことは。

AJR米坂線の早期復旧です。国道を挟んで家の前に線路がありますが、やっぱり列車が走らないと凄く寂しいです。長女も学生たちも代行バスはありますが、少し寂しいと言っています。是非、一日でも早い米坂線の全面復旧をお願いしたいと思います。



稲刈りと野菜の収穫時に取材に伺いました。本当に仲の良い家族で、私も笑顔と元気をいただきました。ありがとうございます。(文責 柴田)

次は12月定例会です。傍聴にも是非どうぞ。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局(62)2448

編集後記

記録的な猛暑と少雨、残暑が厳しかった夏も過ぎ季節は収穫の秋へと移り変わっています。

子供の頃、鉄橋を走る汽車に向かつて手を振り、赤芝峽の河原で作った「いも煮」は、忘れられない味と思いついたら私の記憶に残っています。

昨年の豪雨で寸断された米坂線は、小国町になくってはならない思い出も運ぶ鉄道です。

早期復旧に向け、議員一丸となって強く働きかけてまいります。

町民の皆様のご協力とご理解を、よろしくお願いいたします。

柴田(記)

発行責任者

長 安部 春美

議 長

委員 長 伊藤 弘行

副委員長 石山久美子

委員 柴田 伸也

委員 間宮 尚江

委員 小関 和好

委員 遠藤 和彦